

とうべつ

手にとって good 身近に



WEB版はこちら

議会だより



No. 225

令和8年5月1日発行

CONTENTS

3月定例会

町長・教育長の執行方針に対する代表質問・・・ p. 2

- ・後藤町政2期目初の本格予算の編成
- ・駅がある意義と価値 そして戦略は
- ・安心・安全な当別町に

議員が注目！今回の目玉事業・・・ p. 5

- 各常任委員会、令和8年度各会計予算審査（小・中学生給食費無償化など）

3人の議員が町の考えを質す・・・ p.15

- ・自動運転バス実証実験の取り組み
- ・新庁舎建設事業の展開を問う
- ・「備えない」防災とICT教育

議場ツアーを開催します！ 議員定数・報酬の見直し・・・ p.18

- 夏休みとべつこ議場ツアー開催のお知らせ
- 特集：議員定数を見直しました
- 議案の審議結果 ほか



町の支援が、毎日の給食から始まります。（義務教育学校とうべつ学園 後期課程）

代表質問

会派清流 稲村 勝俊 議員



質問のねらい

後藤町政2期目初の本格予算の編成

令和8年度予算は第6次総合計画・総合戦略の最終年にあたる。年度内に次期計画の調整・検討を行い、令和9年度から新たな計画を実施する予定である。第6次総合計画は、令和2年度から6年度までの設定で

あったが、北海道医療大学移転の影響により、2年間の期間延長と目標変更が行われている。最終年度として各プランの課題の指標や目標の達成状況、町長公約の実現を踏まえた今年度の予算編成について質した。

さらなる経済対策

問 交流人口を関係人口、さらに移住・定住人口につなげるための取り組みや、町での挑戦機会の創出など、成長できるまちの実現に向け、今年度検討した具体的手法と予算編成の考えを伺う。

答 町内商工業の維持・活性化を目的とした引越応援事業と空き店舗等活用促進事業を昨年度に引き続き継続し、予算計上。関係機関と連携し一層の周知とにぎわい創出、経済活性化を進めていく。

農業・再生可能エネルギー

問 持続可能な農業の実現に向け、担い手の現状を踏まえた対策や農業DX^{*1}、企業誘致、資源循環、ゼロカーボン推進など、今年度策定した施策と予算を伺う。

答 農業10年ビジョンに基づき農業DXや6次産業化支援、担い手確保策を実施。併せて企業誘致、再生可能エネルギー導入、森林資源活用による資源循環とゼロカーボン推進の予算を計上する。

健康福祉のまちづくりの実現

問 在宅医療の充実や健康寿命延伸、医療・介護人材確保、健康マイレージ事業や高齢者外出支援タクシー料金助成事業など、今年度の対策と予算編成を伺う。

答 効果や優先度を踏まえ予算を編成。介護人材確保支援を継続し、医療人材確保支援事業を新設。健康マイレージ事業や高齢者外出支援を実施し、住み慣れた地域での健康な暮らしを支える。


デジタル基盤構築

問 町民参加型のまちづくりとして、町民の利便性向上のために利用ができる環境、技術の推進が必要。当別町デジタル行政サービスなど、今年度の対策や手順、予算を策定されたのか。

答 リモート相談窓口や電子申請等に加え、ホームページとLINEの連携機能を整備。利用者の属性に応じた配信や、更新時の自動通知機能を導入し、利便性向上と参加型まちづくりを進める。


総合計画と総合戦略、何が違うの？

「総合計画」…全体的な政策の枠組み



当別町 第6次総合計画

「総合戦略」…目標達成のための具体的な行動計画



当別町 まち・ひと・しごと 創生総合戦略

第6次総合計画

問 総合計画・総合戦略最終年としての重点予算、新計画策定の課題や予算、関連する既存計画との整合性確保について町の考えを伺う。

答 最終年度として各プロジェクトの推進に必要な予算を計上しているほか、次期計画策定に向け委託費等を確保している。財政運営方針や立地適正化計画などは動向を踏まえ改訂を検討する。

*1 DX…デジタル技術を活用してビジネスモデルや業務プロセスを根本から変革し、新たな価値を創造する取り組み。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。

代表質問 会派緑風会 りよくふうかい 秋場 信一 あきば しんいち 議員

質問の
ねらい

駅がある意義と価値 そして戦略は

北海道医療大学の移転が2年後に迫り、町の将来へ大きな影響を及ぼすことが見込まれる中、現段階で着手すべき課題や施策を整理する必要がある。

特に財政、鉄道インフラ、道の駅を含む地域戦略の観点から、町にとって有効な手段と今後の方向性について町長の見解を質す。



動画はこちら

都市計画税ってなに？

まちをすみやすく、便利にしていくための事業に使う税金です。たとえば、道路、公園、下水道、土地区画整理など、まちづくりに関わる費用に充てられます。

この税は、当別町の場合、都市計画区域のうち、用途地域内に所在する土地や家屋を持っている人にかけられます。

つまり、まちとして重点的に整備していく地域の人に、その費用の一部を負担してもらう仕組みです。

用途地域ってなに？

都市計画で定めるルールのひとつです。地域ごとに、建てられる建物の種類や大きさに一定の決まりを設けています。たとえば、

- ・住居地域
静かに暮らせる環境を守るため、住宅を中心にした地域
- ・商業地域
お店や事務所などが集まりやすい地域
- ・工業地域
工業や事業所などが立地しやすい地域

場所ごとに役割を決めることで、生活しやすく、働きやすくしています。

ここが
聞きたい

道の駅は町の広告塔になれ

問 道央圏連絡道路の全線開通を見据え、遠方からでも認識できるよう、道の駅のサイン設置など費用対効果にとらわれない先行投資で町の価値を高め、来訪者を呼び込む考えがあるか町長に伺う。

答 国から避難所指定を受ける施設であり、防災上の理由から倒壊のおそれのある建造物の設置は避けるよう指導を受けている。今後は来場者増や新たなファン獲得に向け、多角的な検討を進める方針。

ここが
聞きたい

いつやる用途地域の見直し

問 下水道など都市基盤の維持財源を確保する観点から、スウェーデンヒルズの用途地域見直しと、都市計画税の賦課開始をいつ、どの基準で判断するのか、町長の考えを伺う。

答 町は住民と協議を重ねてきたが具体的な都市計画事業がない中での課税には強い反対がある。賦課は事業実施と一体で検討すべきであり、財政負担との均衡を踏まえ慎重に判断する方針である。

ここが
聞きたい

JR駅がある町と人口維持

問 医療大学移転後を見据え、JR駅がある町の価値をどう捉え、人口減少下でまちづくりにどう位置付け、駅存続に向けJRとどのような協議・対策を行うのか町長の見解を伺う。

答 JR駅は札幌市と町を結ぶ重要な公共交通であるとともに、医療大学駅は月形町や浦臼町など広域の結節点となっていることから、引き続き、国や道、JRへ利便性向上に向けて働きかけていく。

ここが
聞きたい

利益を上げられる施設に

問 来場者増を踏まえ、雪の堆積場所の確保や繁忙期の大型車・キャンピングカー対応など、利益を生む施設としての駐車スペース整備をどう考えるか町長に伺う。

答 繁忙期と閑散期の来場動向や車種構成、費用対効果の検証が必要である。閑散期である冬期の集客や商品開発、イベント開催など来場目的の充実を含め、指定管理者と共に検討を進める方針。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



代表質問 会派公明 佐々木 常子 議員



動画はこちら



安心・安全な当別町に

有機農業の推進は簡単ではないが、食の安全・安心の観点から、今後さらに取り組みが進むことを期待している。子どもたちが健やかに成長できる環境づくりは重要であり、その一環として有機農産物の活用も意義

があると考える。

また、高校生の通学費助成率の引き上げや、町民から要望の多かった高齢者のタクシー料金補助が実現。子どもから高齢者まで誰もが安全に安心して暮らせることが重要である。

ここが聞きたい 有機農業への取り組み

問 第2期当別町農業10年ビジョンでは「儲かる農業」の実現を目指し、「スマート農業」や「6次産業化」、「農業DX」を推進するとあったが、有機農業への取り組みや推進の考えを伺う。

答 町では有機農業を重点施策の一つとし、生産拡大と需要拡大の両立を図る。国の補助事業を活用した有機農業への作付転換支援や、学校給食活用、町内飲食店との連携を進め、推進していく。

ここが聞きたい 通学費助成制度 変更点

問 高校生を対象とした通学費助成制度は、新年度より助成率を引き上げ、子育て世帯の負担軽減を図ると伺っている。具体的な要件を伺う。

答 新年度からは、1カ月あたりの通学定期券代のうち1万円を超える額について、現行の3分の2助成から「全額助成」へ助成率を引き上げる制度とする。

ここが聞きたい 高齢者へのタクシー料金助成

問 以前より希望する声が多くあった高齢者外出支援タクシー料金助成事業だが、対象年齢や申請方法などの概要を伺う。

免許がない、または、車を持たない方で、家族の外出支援を受けられない世帯に、月3,000円分の利用券を年間分交付する。5月に広報等で周知、6月に申請受付、7月に事業開始を予定している。

答 町内に在住し、在宅で生活する70歳以上で、



令和7年11月提供とべっこランチ (当別町産有機栽培米、ゆとりっち芋団子汁、鮭ちゃんちゃん焼き、大豆の五目煮)

ここが聞きたい 部活動地域展開の今後

問 剣道部で実施した、部活動地域展開の成果と課題、あわせて令和9年度の完全実施を見据えた今後の方針を伺う。

剣道部等と連携し、継続的な指導が実現した。一方で、移動手段や指導者確保が課題。今後は剣道部継続に加え、書道等を加え、スポーツ・文化双方から地域クラブ体制整備を進める。

答 剣道部では、スポーツ協会や少年団、医療大学

ここが聞きたい 学校給食に有機食材を

問 昨年11月のとべっこランチ^{※1}で使用した当別産有機栽培米^{※2}に続き、今後も有機農産物^{※2}を多く活用する考えか。以前、給食で使うには量が足りないと言ったが工夫はあるか。

答 仕入れ量や時間内に調理するための加工状態等の課題があるが、町や当別クリーン農業協議会と協議し実現した。子どもの成長と食育授業の充実のため、今後でもできるところから取り組んでいく。

※1 とべっこランチ…月に一度、町や姉妹都市の食材等を使用した献立を提供する特別な学校給食のこと。

※2 有機農産物…化学肥料や指定外の農薬、遺伝子組み換え技術を使わない栽培方法(有機農業)で作られた農産物。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。

